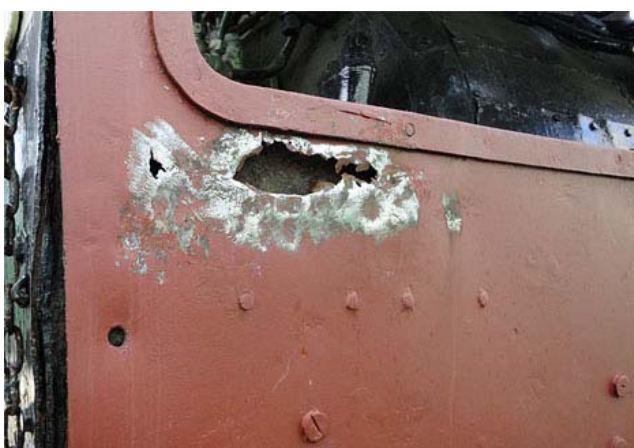
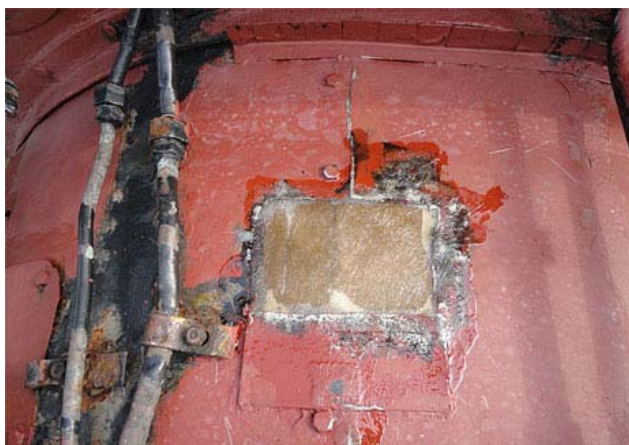
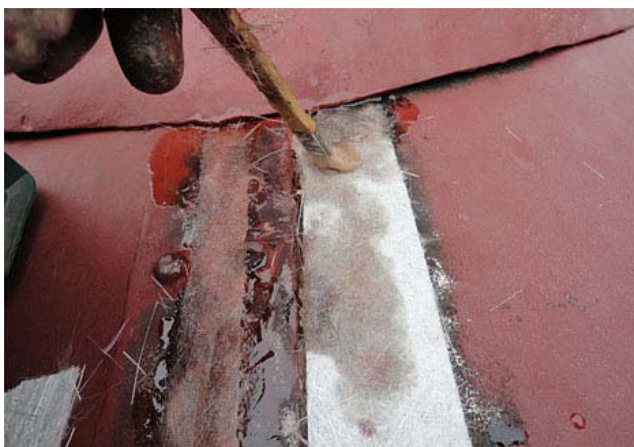


D6061修復作業の様子 (2012年1月下旬から2月上旬)

今回は、FRPとパテを使っての修復作業を中心に紹介します。
写真のように、腐食して欠損したり穴のあいた部分を主に、この方法で修復していきます。
また、取り外して修復作業ができるもの、例えば、シリンダーカバーや給水温め器のケーシング、運転室丸窓や前方扉のガラス窓押さえ金具なども同様に、汽車倶楽部に持ち帰って入念に修復していきます。
写真右列最下段の59647に吊している部品は、D6061の運転室ガラス窓の押さえ金具で、さび止め塗料を乾燥させているところです。

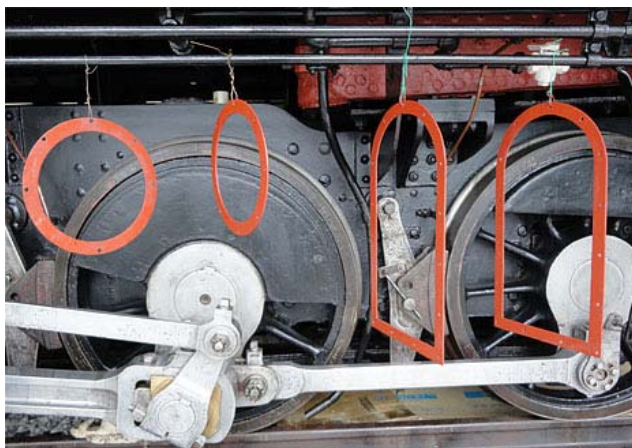








— [このジャンルのトップに戻る](#)



[トップページに戻る](#) —